



TITLE:

Conray 400による静脈注射腎盂撮影について (コンレイ400(特集))

AUTHOR(S):

生亀, 芳雄; 工藤, 三郎; 小川, 秀彌

CITATION:

生亀, 芳雄 ...[et al]. Conray 400による静脈注射腎盂撮影について (コンレイ400(特集)). 泌尿器科紀要 1968, 14(7): 485-488

ISSUE DATE:

1968-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/119880>

RIGHT:

Conray 400 による静脈注射腎盂撮影について

関東逓信病院泌尿器科 (部長: 生亀芳雄博士)

生	亀	芳	雄
工	藤	三	郎
小	川	秀	彌

INTRAVENOUS PYELOGRAPHY USING CONRAY 400

Yoshio Iki, Saburo Kudō and Hideya OGAWA

From the Department of Urology, Kanto Teishin Hospital, Tokyo

(Chief: Dr. Y. Iki, M. D.)

A new contrast medium Conray 400 (66.8% sodium iothalamate) was used to obtain intravenous pyelogram. This medium has a character that the viscosity is low despite of high iodine content (400 mg/ml). Side effects were not significant and their degree and frequency did not differ from those of other contrast media. Radiopacity was undoubtedly superior to Conray (60% meglumin iothalamate).

Conray 400 について

Conray 400 は iothalamate group に属する尿路および血管造影剤である。

この group に属するものとして、本邦においても Conray および Angio-Conray がそれぞれ静脈注射腎盂撮影法および各種の血管撮影法に使用されている。

Marshall らは400例以上の静脈注射腎盂撮影法に本剤を使用して良好な腎盂像が得られたことを報告している。

また粘稠度が低いため1分以内に静注が可能であり、副作用も少なく、注射局所の血管痛がまれにみとめられたのみであったといっている。

従来から本邦で使用されている代表的な造影剤である Conray, Angio-Conray, Urografin および西独で使用されている Uromiro などと本剤を、その組成、ヨード含有量、粘度、ヨード含有量/粘度などから比較してみると Table 1 のようである。

Conray 400 は粘稠度が最も低く、ヨード含

有量/粘度が最も高いのがその特性である。

副作用について

Marshall らの副作用についての意見は前述したが、本邦において本剤を使用して静脈注射腎盂撮影を行なった大越ら、杉田らの副作用に関する報告は次のようである。

大越らは66例中19例に副作用をみとめ、その出現率は約30%といっている。しかしいずれも軽度のもので、その種類は全身の灼熱感、嘔気、静脈痛、顔面紅潮などである。

杉田らは静脈注射腎盂撮影および腎動脈撮影においても高度の副作用はなく、犬を使用して大量の造影剤を腹部大動脈内に注入して腎生検およびNPNの変動などについて調べたが、この際にも特別な変化はみられなかったと報告している。

Table 2 はわれわれのところで Conray, Angio-Conray, 76% Urografin と本剤との副作用を比較検討したものであるが、表のようにその発現率は従来の Conray と同程度であった。

造影力について

Table 3 は当科における Conray, Angio-Conray,

Table 1 造 影 剤 の 比 較

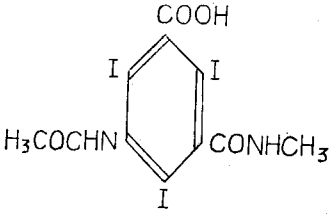
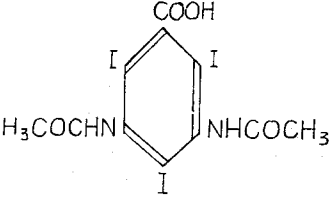
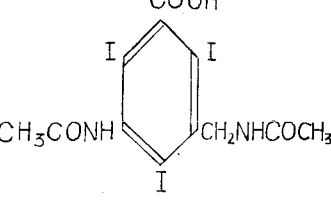
商 品 名	一 般 名	化 学 構 造 式	組 成	コード含有量 g/dl	粘 度 (cps) 37°C	コード含有量/粘 度 37°C
Conray	Iothalamic acid		Mg 塩 60w/v %	28.2	5.5	5.1
Angio-Conray			Na 塩 80w/v %	48.0	10.1	4.8
Conray 400			Na 塩 66.8w/v %	40.0	4.4	9.1
Urografin 60%	Diatrizoic acid		Mg塩+Na塩 60w/v %	29.0	6.1	4.8
Urografin 76%			Mg塩+Na塩 76w/v %	37.0	10.0	3.7
Uromiro 64.8%	Jodamid		Mg 塩 64.8w/v %	30.0	5.8	5.2
Uromiro 80%			Mg塩+Na塩 80w/v %	38.0	10.7	3.6

Table 2 副 作 用 (各30例)

種 類 造 影 剤	全身熱感	口内熱感	胸内熱感	悪 心	嘔 吐	発 疹	頭がボー ッとなる	顔面紅潮	くしゃみ
Conray 20ml	8	2		1					
Angio-Conray 20ml	1		2	1			1		
Conray 400 20ml		2	3	1		2			2
76% Urografin 20ml	3		1	1			1		

Table 3 腎盂像成績 (1)

腎盂像 造影剤	5分像	10分像	20分像	側数
Conray	2.2	2.8	2.1	50
Angio-Conray	3.0	3.0	1.9	12
76% Urografin	2.7	3.2	2.3	50

76% Urografin などの造影力の成績を示したものである。

この数字は腎盂像が完全に描出されているもの4, 大部分が描出されているもの3, 半分程度が描出されているもの2, 造影剤の存在をみとめるもの1, 全く造影剤をみとめないものを0として, その平均値を示したものである。

Table 4 は今回, Conray, Conray 400, Uromiro

Table 4 腎盂像成績 (2)

造影剤	腎盂像	腎盂	上腎杯	中腎杯	下腎杯	5分像	10分像	20分像	側数
Conray	5分	2.0	2.5	1.7	1.5				40
	10分	2.3	2.2	1.6	1.6	7.7	7.7	4.5	
	20分	1.1	1.3	0.9	1.2				
Conray 400	5分	2.3	2.6	1.9	2.1				40
	10分	2.5	2.5	2.1	2.3	8.9	9.4	5.2	
	20分	1.2	1.5	1.0	1.5				
Uromiro (64.8%)	5分	2.5	2.7	2.1	1.9				40
	10分	2.8	2.7	2.3	2.2	9.2	10.0	7.2	
	20分	1.7	2.1	1.6	1.8				
Uromiro (80%)	5分	2.3	2.3	2.0	1.7				40
	10分	2.7	2.4	2.3	2.2	8.3	9.6	6.5	
	20分	1.4	1.9	1.5	1.7				

などについて調べた成績である。

この表では腎盂，上，中，下腎杯についてそれが完全に描出されているもの3，大部分が描出されているもの2，一部描出されているもの1，全く描出されていないもの0として，これらの点数の合計をもって，それぞれ5，10，20分像の成績としている。

Conray と Conray 400 についてその成績をグラフで示してみると Fig. 1 のようで，Conray 400 は

Conray に比較して造影力がすぐれていることがわかる。

自 験 例

Fig. 2, 3, 4 は31才の右遊走腎症の患者に本剤を20ml 静注して撮影した腎盂の5，10，20分像であるが，良好な腎盂像がえられている。

結 語

本剤は初めにのべたようにヨード含有量が高く，粘稠度が低いという特性を有する。

副作用の点からも従来使用されている造影剤に比較してその程度，頻度において特別に劣っていることはない。

造影力は Conray に比して明らかに本剤の方がすぐれている。

文 献

- 1) 生亀芳雄ら：臨床放射線，**12**：525，1967.
- 2) Marshall, T. R. et al. : Am. J. Roentgen, **92**：676，1964.
- 3) 大越正秋ら：臨床放射線，**11**：860，1966.
- 4) 杉田篤生ら：泌尿紀要，**12**：832，1966.

(1968年6月12日特別掲載受付)

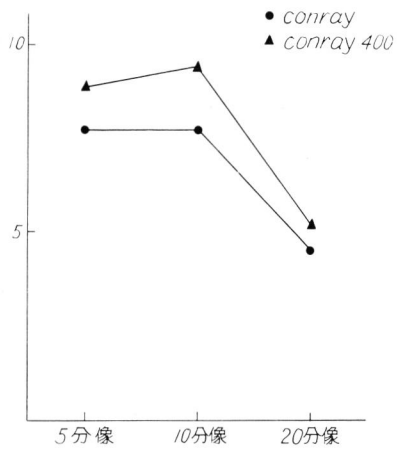


Fig. 1 Conray と Conray 400
との成績の比較

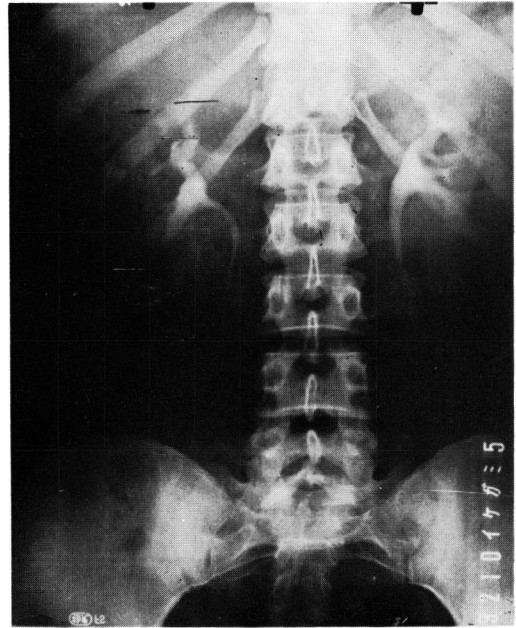


Fig. 2

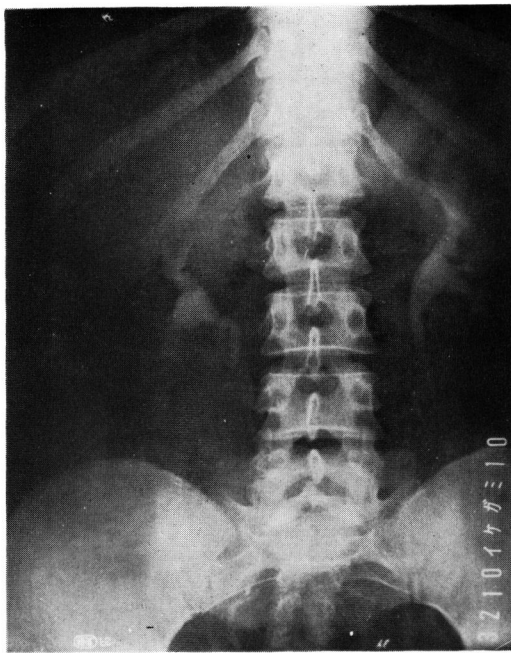


Fig. 3

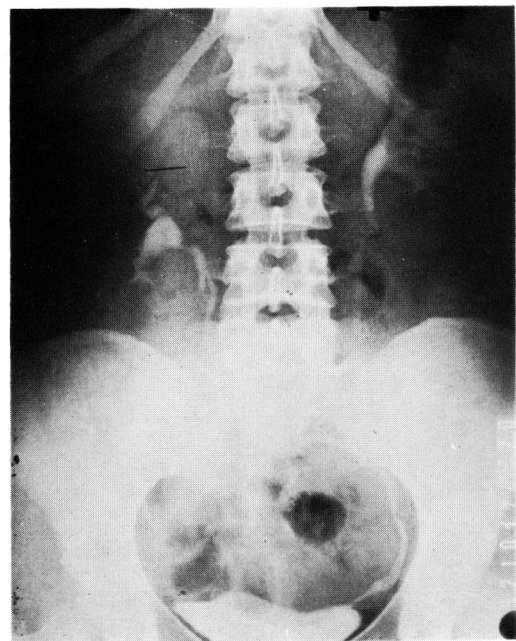


Fig. 4